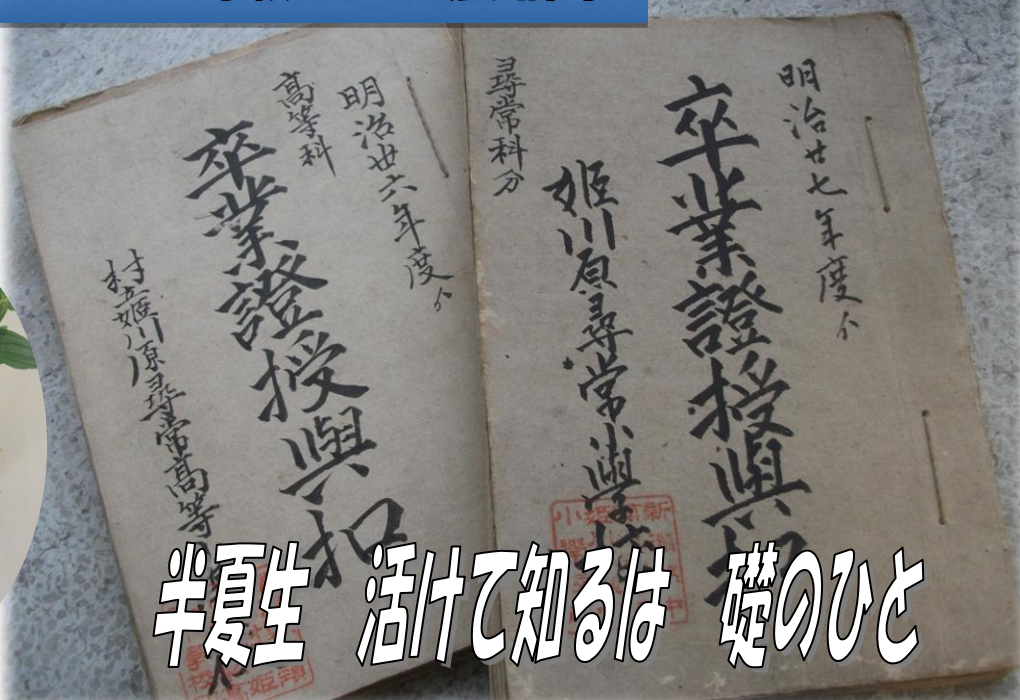




HP <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/himega-s/>

7月

学校だより/姫川原小



半夏生 活けて知るは 礎のひと

家の裏に季節の花「半夏生」が咲いていた。興味深い名前に誘われて、数輪学校へ持っていった。この花に似合う花器を探していたら、衝撃的な花器に出くわした。

それがきっかけとなり、夢中になって姫川原小の歴史を改めて繙くこととなった。花瓶をよく見ると、支那事变出征記念となっていた。鋳物でできている。水辺に鶴が二羽、後ろに松、空には雲に隠れるように満月が彫られていた。立派な花器だ。日清戦争以降、兵士が餞別の返礼とした記念品。それが七十年余も経って、学校にあるとはびっくりするしかない。戦争を知らない自分は、平和な平成の世に突如現れた戦前の品に、思わず手を合わせた。

閉校記念事業として、今記念誌を作成中だ。名簿をどうするか、データ処理するには途方もない仕事であり、折しも名簿の扱いを検討していた時だった。「昔の人の字は達筆すぎて読みにくいです。」と教頭先生。花瓶の送り主を探そうと、金庫から昔の明治時代の卒業生名簿を調べ始めた。すると大正十年度高等科修業者名簿について名前を見付けた。

無事に帰還なさったのだろうか。戦争のない時代を生きて暮らせたのだろうか。と想いを馳せた。日本の敗戦が決まると同時に、盃や徳利、花器などの記念品はその役割を終えた。真夏の向日葵でなく、偶然に活けた半夏生が寂しげに見える。

せめて学校が終わる三月まで、この花器にたくさんの花を活かすことで、平和の礎となった方々への供養としたい。

他流試合逞しく育つ子どもたち

他校との交流経験をへて

六月十二日、第十回ミニバスケットボール大会が、A・Bリーグに分かれ行われました。最後にリーグ優勝同士の男女決勝が、新装になったはね馬アリーナで同時に開催され、男子は新井小学校が、女子は新井中央小学校が優勝しました。



男子Aリーグ

姫川原	2ー9	高原南
姫川原	9ー20	新井中央
姫川原	8ー34	新井
姫川原	2ー2	高原北

女子Aリーグ

姫川原	6ー13	高原南
姫川原	6ー32	新井中央
姫川原	8ー26	新井
姫川原	13ー4	高原北



閉校予定の当校と斐太南小が選手宣誓の機会を頂きました。
男子キャプテンと女子キャプテンの六年生二人が気持ちを合わせ宣誓しました。



新井小との交流会 2年生は仲間作りやふれあいゲームを
5年生はインタビュー学習も経験 給食も仲よく一緒に



Aリーグの試合結果、スコアを見ると、大規模校の強い相手に何倍もの点差であり、厳しい試合だったと想像されることでしょう。

しかし、帰りのバスの中、「どの子の顔にもやり遂げた後の充実感に満ちていた」と、担任は振り返ります。全員が選手の姫川原。そこには相手校に関係なく、最後まで諦めずに、本気で戦いを繰り広げていた子どもたちがいまいました。試合を経験するたびに成長が見られます。休むことなく最後までよく走り続けました。数字だけでは伝わりにくい感動すべき子どもの姿があったのです。

■新井小のマークがすごきつかった。でも自分からドリブルしてぬけ、シュートを打てた。うれしかった。(六年)

■少しずつ慣れてきたら最後の試合では、パスが回せるようになっていった。三年間で初めてシュートが入ってうれしかった。(六年)

■中央小はドリブル、パス、シュートが上手でした。結果的には一番下の順位だったけれど、精一杯の試合ができてよかった。(六年)

■ガッツだ！ガッツだ！と言い聞かせた。そのおかげで初めてシュートが入った。うれしかったスツキリした。(六年)

昨日の敵は、今日の友。統合が決まった今年は、三校の交流会が学年毎に始まりました。ミニバスと違い、目と目を見て話さなければ交流になりません。カチカチの表情の出会いから、ゲーム、給食、インタビュー活動を通し、別れ際には、次回の再会を楽しみにするほどだったそうです。高学年では、大きな声でしっかり発言し、積極性のある他校の姿により刺激を受け帰ってきました。

担任のつぶやき

5年生の担任は、交流会後の子どもたちの感想に、楽しかったことだけでなく、他校の仲間のすごいことから、なりたい自分を描かせました。アウェイの環境の中では、顕著に当校の子どもたちの課題が見えました。3月までに、今の良さを認め伸ばしながらも、課題を子どもたちにも意識させながら取り組んでいこうと、話し合ったところです。

いつもの環境と違う中で鍛える場面は、自分の殻を破る場になります。



男女決勝と、閉会式が一堂にできたのも素晴らしいはね馬アリーナが完成したからです。姫小最後の年に初体験できた幸せな6年生でした。



2年生 ちまきづくりに挑戦！

2年生は、一人40枚近くの笹を川上へ採りに行き準備を進めました。ちまき作りは25日の実施です。食生活推進員の皆さんの指導の下、初めて挑戦しました。4名のお家の方の協力参加を得、一人一人に丁寧に教えて頂きました。難題は笹を結ぶところです。若いママにとっても貴重な体験で有り、親子で郷土に伝わるちまきを作ることができました。

◆「米を入れてぎゅっともつと、広がって米がこぼれるから軽くもってね。」とコツを教えてもらいました。軽くもったらこぼれずうまくいきました。(2年)



カッパ天国 楽しいプール

水泳授業が始まりました。この水泳の季節は、妙高市の子縁人材を活用し水泳専門の先生をお呼びしています。講師のお二人は、昨年引き続き来て頂いているので、子どもたちの名前も覚えて下さった程です。少人数の良さが生き、当校の職員とダブルで指導することで、みるみる上達しています。泳ぎが楽しくなってきた低学年からは、いつも歓声が響いています。



読書週間 楽しい企画盛り沢山



**お菓子のパッケージで
しおりを作ったよ！**
普段のおやつチョコやクッキーの箱の紙を利用し、素敵なしおり作りをお習いしました。捨てる予定の紙に新たな命が吹き込まれました。
図書館の廊下には、新井北小の皆さんからの「おすすめ本の紹介」が掲示されています。
図書委員会では、本を借りる時につけた番号札を配り、ドリームブック宝くじ抽選会を開きました。本への興味が一段とわく機会となりました。



図書館ボランティアさんが大活躍！
これまでの4名のボランティアさんに、新たに2名のボランティアさんが加わり、最後の姫小を盛り上げて下さっています。有り難うございます。

